

学校教育目標	
探求・創造・共生	

令和4年度学校経営方針（学力向上に関わる要点）	
(1) 自己実現に努める生徒（学習等について、自分の意志で決められる自己決定能力の育成） (2) 主体的に学ぶ生徒（学習に対して、自らの意志や判断で決めて取り組む力の育成） (3) 励まし支え合い、互いに学ぶ生徒（互いに尊重し高め合える人間関係能力の育成）	

各教科の指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習状況を踏まえ、「授業改善プラン」を立案し、指導・評価・支援の一体化を組織的に進める。 協働的な学習活動を盛り込み、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 定期考査の前には学力充実期間として、学習意欲の向上を図る。 各教科において教材教具の充実、ICTの積極的な活用を進める。 数学、英語の教科で少人数指導を実施し基礎・基本の定着と個に応じた指導の充実を図る。 特別な支援が必要な生徒に対しては、個別指導計画を作成し、全教員で共通理解の上立った適切な指導を実施する。 朝読書を実施し、読書に親しむ習慣をつけさせ、読書活動の充実を図る。

指導の重点（本校の捉える「確かな学力」）
<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な学習習慣の確立 生徒の自主的・主体的学習の確立 学習の苦手な生徒への指導 学習の進んでいる生徒への指導 生徒の多様な能力の伸長

総合的な学習の時間の指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> 自ら設定したテーマに基づき、学校図書館やタブレット端末等を活用して情報を収集し、自分の考えをまとめ、プレゼンテーション等の活動を通して発表する力を養う。

特別活動の指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> 自主的な活動を通して生徒会活動を活性化させ、自主・自立と協力・協働の精神を養う。小中連携の相互交流活動を推進し、意欲的に取り組む生徒を育成する。

道徳教育の指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> 「いのち」に関わる学習を推進し、規範意識や他を思いやる心を育てる。道徳授業地区公開講座等を通して、保護者や地域の人々と意見交換し、開かれた道徳教育を目指す。

キャリア教育の重点
<ul style="list-style-type: none"> 職業調べや職場体験、上級学校訪問など多様な体験活動を通して自己の適性を発見させる。そして主体的に進路を選択できる力を育てるとともに、生涯にわたって学び続ける力の基礎を築く。

生活指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> 社会の一員としての自覚を深め、社会的規範を守り、正しい判断と責任ある行動がとれる生徒の育成に努める。 スクールカウンセラーや心の教室相談員、緑野サポートルームや巡回相談員と連携を図り、教育相談体制を充実させる。

授業改善の視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	評価の工夫	校内研究・研修の工夫	小学校との連携	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> 各種テストにより各生徒の到達度の把握と対応 教科の知識・技能の習得 少人数・習熟度別授業による個に応じた指導 ICT機器の効果的な活用とオンライン学習環境の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 週時程や教科時数の確保 基礎・基本の確実な定着を図る年間指導計画の作成と充実 単元テストや学習コンテスト（年2回）の実施 朝の読書活動 	<ul style="list-style-type: none"> 指導と評価の一体化を目指し、評価規準の明確化と評価説明会の実施 評価Cの生徒の分析と支援 学習コンテスト実施後の努力生徒の表彰等の実施 評価方法に関する校内研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びや個別最適な学習の実現に向けた指導方法の検討 ICT機器の活用の工夫と研修会の実施 生徒理解と適切な支援の研修 教科横断的な指導の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 小中連携教育協議会、オープンキャンパスの実施により、小中の実態を踏まえ連続した教科指導の工夫 近接する小学校への乗り入れ授業の実施 小中連携授業改善プランの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開を通して保護者や地域に学習指導の状況を配信 学校ボランティアの活用 学校関係者評価・生徒評価の実施と情報提供の推進 P T A活動との連携、日常的連携と地域懇談の工夫

学力向上に向けた任期付短時間勤務教員の活用
<ul style="list-style-type: none"> 1・2年数学の基礎クラスで、T T指導による机間支援を行い、個に応じた指導の充実 放課後や長期休業中の補充学習を、数学科の教員とともに担当 長期休業中に、学習室を開放して学習環境を整備